



安全データシート (SDS)

FOODLUBE® 食品機械用強力PTFEスプレーグリース

発行日: 2017-04-21

改訂日付: 2017-04-21

バージョン: R0002.0001

1. 化学製品および会社情報

A. 製品名

- FOODLUBE® 食品機械用強力PTFEスプレーグリース

B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途 : 食品機械用潤滑剤
- 使用上の制限 : 所定の用途以外に使用しないこと

C. 製造業者/供給者/流通業者情報

○ 製造者情報

- 製造元/供給元 : ROCOL
- 住所 : ROCOL House Swillington Leeds LS26 8BS ENGLAND

○ 供給者/販売者情報

- 供給元/販売元 : 株式会社ITWパフォーマンスポリマーズ & フルuids ジャパン
- 住所 : 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32
- 担当部署 : 品質管理部
- 電話 : 06-6330-7118
- FAX : 06-6330-7083

2. 危険有害性の要約

A. GHS分類

- 引火性エアゾール : 区分1
- 引火性エアゾール : 区分3
- 慢性水生環境有害性 : 区分3

B. 予防措置文句を含む警告表示項目

○ シンボル



○ 注意喚起語

- 危険

○ 危険有害性情報

- H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール
- H229 圧力容器 : 熱を加えると破裂する可能性がある。
- H412 長期的影響により水生生物に有害

○ 注意書き

1) 予防

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- P251 加圧容器 : 使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。

2) 対応

- 該当なし

3) 保存

- P410+P412 日光から遮断し、40°C以上の温度に暴露しないこと。

4) 廃棄

- P501 内容物/容器を都道府県/市町村の法令・規則に従って廃棄すること。

C. 有害・危険性分類基準に含まれていないその他の有害・危険性

○ NFPA等級 (0~4段階)

- 保健 : 0, 火災 : 4, 反応性 : 0

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区 : 混合物
- 一般名 : 潤滑スプレー

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
液化石油ガス	LPG	68476-85-7	-	-	55-65
シクロペンタン	Pentamethylene	287-92-3	3-4166	-	35-45

*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

4. 応急措置**A. 眼への接触**

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。

B. 皮膚に付着した場合

- データなし

C. 吸入毒性

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。

D. 飲み込んだ場合

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。

E. 急性および遅延性の主な症状/影響

- データなし

F. 応急処置および医師の注意事項

- データなし

5. 火災時の措置**A. 消火剤**

- 炭酸ガス、ドライケミカル、耐アルコール性フォーム

B. 使ってはならない消火剤

- 水(炎を拡散する可能性がある)

C. 特有の危険有害性

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

D. 特定の消化方法

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

E. 消化を行う者の保護

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具(耐熱性)を着用すること。

6. 漏出時の措置**A. 人体を保護するために必要な注意事項**

- 作業者は適切な保護具("8. 暴露防止及び保護措置"の項参照)を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
- 風上で作業して、風下にいる人を非難させること。
- 漏出区域から安全な区域に容器を移動すること。

B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

C. 浄化方法

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。
- 廃棄物管理法(環境省)により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**A. 安全な取り扱いのための注意事項**

- 容器が空になった後も製品かす(蒸気、液体、固体)が残ることがあるので、すべてSDS、ラベルの予防措置に従うこと。

B. 安全保管条件

- 避けるべき物質および条件に注意すること。
- 使用しない場合、密閉しておくこと。
- 密閉容器に入れて回収すること。

8. 暴露防止及び保護措置**A. 許可濃度**

- 日本許容濃度
 - 該当なし
- ACGIHの暴露標準
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)] : TWA, 1000 ppm
 - [Cyclopentane] : TWA, 600 ppm (1720 mg/m³)

B. 設備対策

- データなし

C. 個人防護具

- 呼吸保護
 - 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 眼の保護
 - 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備(シャワー式)を設置すること。
- 手の保護
 - 適切な耐化学性手袋を着用すること。
- 身体の保護
 - データなし
- その他
 - データなし

9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	エアゾール
- 色	白
B. 臭い	特異臭
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	<0℃
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	<0℃
G. 引火点	-100℃
H. 蒸発速度	速い
I. 引火性(固体、気体)	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	1.8 - 9.4%
K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	水に溶解しない
M. 蒸気密度	データなし
N. 比重	データなし
O. 水/n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	>200℃
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

10. 安定性及び反応性**A. 安定性**

- 常温・常圧、密閉保管であれば安定

B. 有害反応の可能性

- データなし

C. 避けるべき条件

- 直射日光、加熱、火源。

D. 混触危険物質

- 強酸化剤及び強還元剤。

E. 危険有害な分解生成物

- 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

- (呼吸器)
 - データなし
- (経口)
 - データなし
- (眼・皮膚)
 - データなし

B. 有害性

- 急性毒性
 - * 経口毒性
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: データなし。
 - [Cyclopentane]: ラットにおけるLD50 = 11400 mg/kg (RTECS(2004)) であることから区分外とした。
 - * 経皮毒性
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: データなし。
 - [Cyclopentane]: データなし。
 - * 吸入毒性
 - [Cyclopentane]: ラットにおける吸入LC50 = 106 mg/L (RTECS(2004))である。文書中からは投与期間が不明であるが、この濃度の場合、30分以上の暴露時間であれば区分5に分類されるため区分5とした。なお、本物質の飽和濃度は4.1x10⁵ppm (換算値1.2x10⁶ mg/L)であり、吸入試験は蒸気の状態で行われていると推定される。
- 皮膚腐食性/刺激性
 - [Cyclopentane]: 本物質との接触はヒトの皮膚を刺激するとの記述がある (SITTIG(4th, 2002), HSFS(2001), ICSC(J)(1994)) ことから区分2とした。
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性
 - [Cyclopentane]: 本物質および蒸気への接触はヒトの眼を刺激するとの記述がある (PATTY(5th, 2001); ICSC(J)(1994); HSFS(2001); SITTIG(4th, 2002)) ことから区分2A-2Bとした。【表示】細区分を行う必要がある場合は、安全性の観点から、2Aとした方が望ましい。
- 呼吸器感作性
 - [Cyclopentane]: 呼吸器感作性: データなし。皮膚感作性: Priority 1(PATTY(5th, 2001))ならびに2の文書 (ICSC(J)(1994); IUCLID(2000)) において、長期間の接触により皮膚炎を起こすとの記述があるが、刺激性のものかアレルギー性のものか判別できないことから、データ不足により分類できないとした。
- 皮膚感作性
 - データなし
- 発がん性
 - * IARC
 - データなし
 - * OSHA
 - データなし
 - * ACGIH
 - データなし
 - * NTP
 - データなし
 - * EU CLP
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: Carc.1B
- 生殖細胞変異原性
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: In vivo試験のデータがなく分類できない。なお、Ames試験 (invitro変異原性試験) の結果は全て陰性である [IUCLID(2000)] 。
- 生殖毒性
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: データなし。
 - [Cyclopentane]: データなし。
- 標的臓器/全身毒性 (単回暴露)
 - [Cyclopentane]: Priority 1において、本物質への暴露の結果、眩暈、意識混濁、昏睡等の中枢への影響が見られるとの記述がある (PATTY(5th, 2001)) こと、また、気道刺激性を示す (PATTY(5th, 2001)、ICSC(J)(1994)) ことから、区分3 (麻酔作用、気道刺激性)とした。

○ **標的臓器／全身毒性（反復暴露）**

- [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: ラットを用いた90日間の吸入暴露試験(用量:1017, 4489 ppm/6h)において、NOAEL=4489ppmとされ、ガイダンスの区分2を超える4489ppmの用量で死亡ならびに毒性影響は観察されていない(IUCLID(2000))。また、21日間の吸入暴露試験(用量:0.12、1.15、11.8 mg/L/6h (48, 469, 4808 ppm/6h)において、NOAEL=4808 ppmとされ、ガイダンスの区分2を超える4808 ppm(90日換算:1122 ppm)の用量で死亡ならびに毒性影響は観察されていない(IUCLID(2000))ことから区分外(吸入)に該当するが、リスト2のデータであり、他の経路の結果もないことから分類で
- [Cyclopentane]: ラットにおける12週間反復試験では、区分外に相当する高濃度の吸入暴露により体重増加抑制が認められた (PATTY(5th, 2001)) のみであることから、区分外とした。

○ **吸入有害性**

- [Cyclopentane]: Priority 1 (PATTY(5th, 2001)) および2 (ICSC(J)(1994); SITTIG(4th, 2002)) の文書中、誤嚥により化学性肺炎を引き起こすとの記述があることから、区分1とした。

12. 生態学的情報

A. 生態毒性

- **魚類**
 - データなし
- **甲殻類**
 - [Cyclopentane]: 甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=10.5mg/L
- **藻類**
 - データなし

B. 残留性と分解性

- **残留性**
 - データなし
- **分解性**
 - データなし

C. 生体蓄積性

- **生体蓄積性**
 - データなし
- **生分解性**
 - データなし

D. 土壌中の移動性

- データなし

E. オゾン層への有害性

- データなし

F. その他の有害な影響

- [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)]: データ不足により分類できない。
- [Cyclopentane]: 急性毒性が区分3、生物蓄積性が低いと推定されるもの (log Kow=3 (PHYSPROP Database, 2005))、急速分解性が不明であることから、区分3とした。

13. 廃棄上の注意

A. 廃棄方法

- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

B. 廃棄上の注意

- データなし

14. 輸送上の注意

A. 国連番号

- 1950

B. 国連輸送固有名

- AEROSOLS, FLAMMABLE, (EACH NOT EXCEEDING 1 L CAPACITY)

C. 輸送危険クラス (ES) :

- 2.1

D. 包装等級

- データなし

E. 海洋汚染物質

- 該当なし

F. 輸送上の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類：F-D (Flammable gases)
- 流出時の非常措置の種類：S-U (Gases (flammable, toxic or corrosive))

G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号

- 126

15. 適用法令**A. 日本国内規制事項**

- 消防法
 - 第4類第1石油類(非水溶性液体)
 - * 危険等級
 - II
- 労働安全衛生法
 - * 表示物質
 - 法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9(238 シクロペンタン)
 - * 通知物質
 - 法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9(238 シクロペンタン)

B. 他の国内および国際法律情報

- 残留性有機汚染物質規制法
 - 該当なし
- EU 分類情報
 - * 分類
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)] : F+; R12/Carc. Cat. 1; R45/Muta. Cat. 2; R46
 - [Cyclopentane] : F; R11 R52-53
 - * 危険有害性情報
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)] : R12, R45, R46
 - [Cyclopentane] : R11, R52/53
 - * 注意書き
 - [Petroleum gases (<0.1% 1,3-Butadiene)] : S53, S45
 - [Cyclopentane] : S2, S9, S16, S29, S33, S61
- 米国の管理情報
 - * OSHA規定 (29CFR1910.119)
 - 該当なし
 - * CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)
 - 該当なし
 - * EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)
 - 該当なし
 - * EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)
 - 該当なし
 - * EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)
 - 該当なし
- ロッテルダム協約物質
 - 該当なし
- スtockホルム協約物質
 - 該当なし
- モントリオール議定書物質
 - 該当なし

16. その他注意事項**A. 参考文献**

- このSDSはKOSHA, NITE, ESIS, NLM, SIDS, IPCSなどに基づいて作成してあります。
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253
- 危険及び有害性評価は十分ではない場合がありますので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。

- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカー所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。

B. 作成日

- 2017-04-21

C. 改訂回数及び最終改訂日

- 1 times, 2017-04-21

D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。